

# やんばるの道

2006-2007

沖縄県北部地域における  
道路行政の平成18年度達成度報告書／平成19年度業績計画書



平成19年12月

内閣府沖縄総合事務局  
北部国道事務所

# 沖縄県北部地域におけるみちづくりの基本的な考え方

## 新しいみちづくりの実践に向けて

これからの道路行政は、道路利用者の意見に基づいて、最適で良質な道路交通サービスを提供していく必要があると考えています。

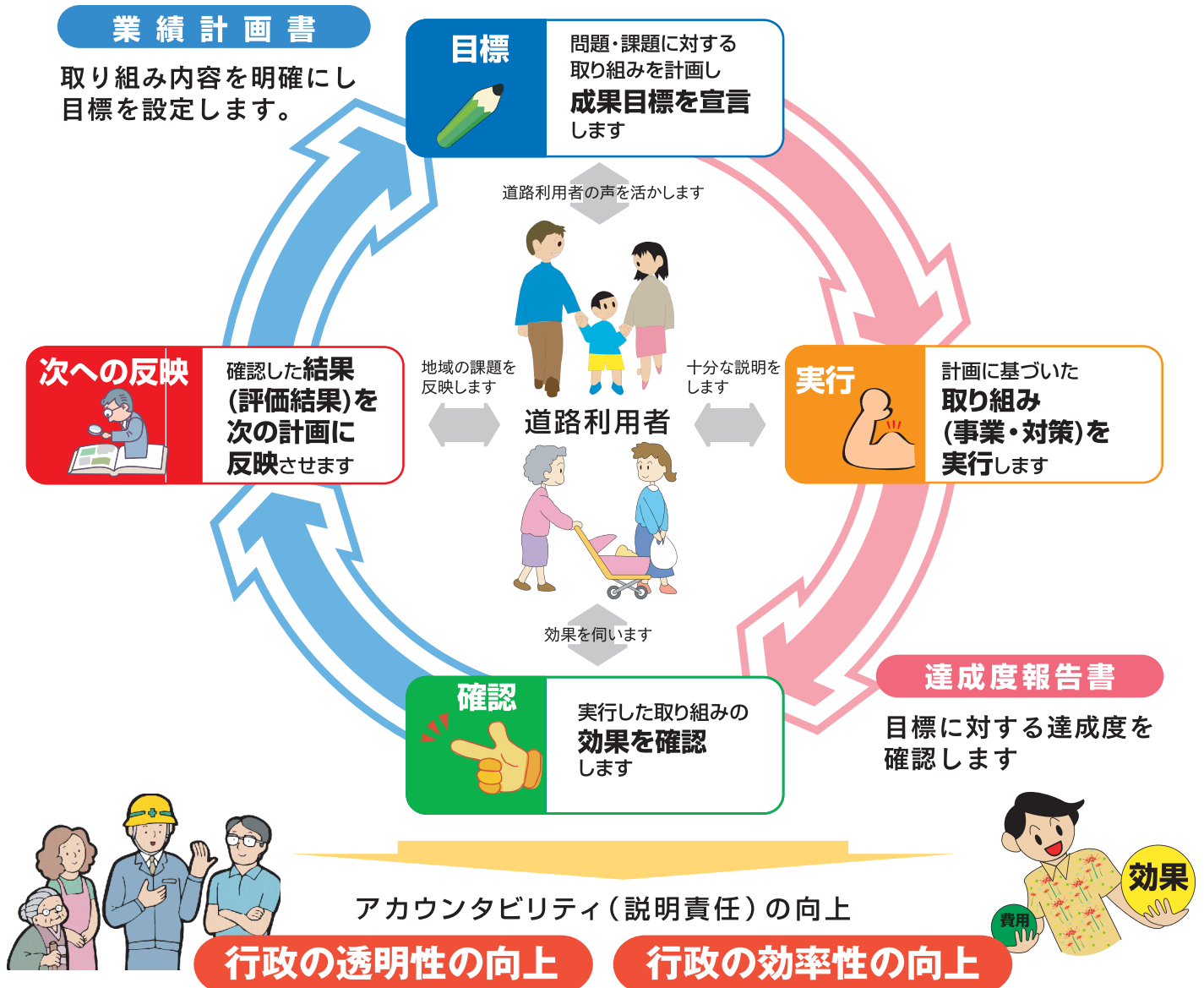
そこで、道路行政の転換を図り、「道路行政マネジメント」の取り組みを実施しているところです。

## 道路行政マネジメントとは？

**道路行政マネジメント**は、道路利用者のニーズにあった事業や施策を実施し、道路利用者の満足度の向上を実現するための仕組みのひとつです。

**取り組み内容**は、目標達成に向けて「目標」設定した施策を「実行」し、その達成状況を「確認」する「**達成度報告書**」を公表し、その結果について「次への反映」を行い、次年度の「目標設定」をした「**業績計画書**」を公表するというプロセスを1年ごとに進め、道路利用者と積極的にコミュニケーションを図っていくことで、アカウンタビリティ(説明責任)の向上を図ります。

また、平成15年度から実施してきた業績計画および達成度の評価について、今年度は目標年次である平成19年度を迎えています。さらに、社会資本整備重点計画の最終年次でもあるため、これまでの事業等実施に対する評価および、今後への反映など検討を実施していくことが重要です。



# 沖縄県北部地域におけるみちづくりのテーマ

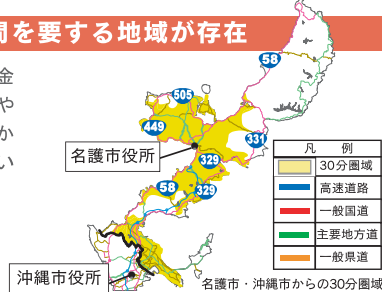
## 現状と課題

北部地域は山林が約7割を占め貴重な動植物の生息地であるとともに恵まれた海浜景観を有しており、休日やレジャーシーズンには、多くの人々が訪れて来ます。

一方で、北部地域では、「国頭方面を中心として移動に時間を要する」「レジャーシーズンに交通渋滞が起きている」「通行規制時に孤立してしまう集落が残されている」など、北部地域の住民生活に支障をきたす道路交通の課題を抱えています。また、貴重な動物が車に轢かれるなど「ロードキルの発生」も大きな課題の一つとなっています。

### 移動に時間を要する地域が存在

国頭方面、恩納村、金武町などでは、名護市や沖縄市まで30分以上かかる地域が存在しています。



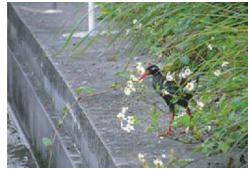
### 大雨や災害時の通行規制により集落が孤立

北部地域では降雨および越波に伴う通行規制が実施され、国頭村、東村、名護市のいくつかの集落が孤立してしまいます。



### ロードキルの発生

国頭村、大宜味村などでは、オカガニやイワガニが満月の夜に産卵のために道路を横断するため、通行車両によって多くのカニが轢かれてしまいます。このほか、カメラやヤンバルクイナなどへの被害も懸念されます。



### レジャーシーズンにおける渋滞の発生

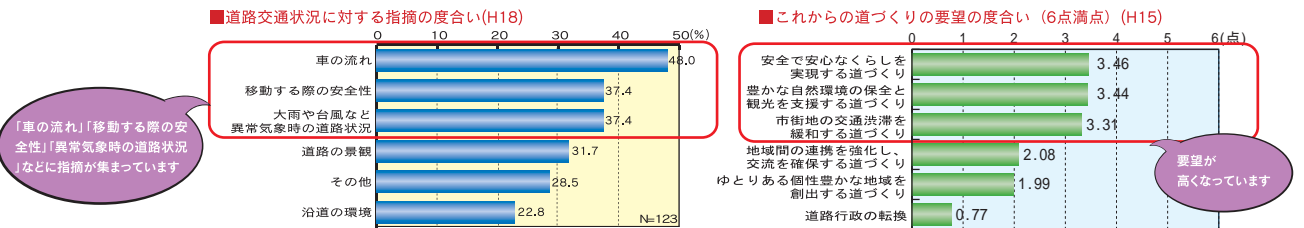
名護市や観光リゾート地である恩納村周辺では、休日やレジャーシーズンの交通集中により渋滞が発生しています。



## 北部地域のみなさまからの意見

～現在の道路交通状況に対する指摘とこれからの道づくりに対する要望～

地域間の連携を強化し、



## これからの北部地域における道ビジョン

北部地域では、道路利用者のニーズに対応するため、県民のみなさんからいただいた意見をもとに、以下の5つの「道ビジョン」に従って、みなさんのメリットを重視しながら道路行政を進めていきます。

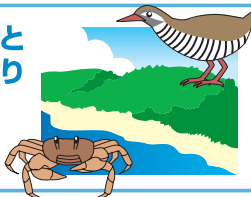
### 1 安全で安心な暮らしを実現する道づくり

災害などに強く、危険が少ない道路を整備し、高齢者・子供・障害者など誰もが安全で安心して暮らせる社会の実現を目指します。



### 2 豊かな自然環境の保全と観光を支援する道づくり

豊かな自然環境を保全しつつ、沖縄らしさに配慮した観光の支援を目指します。



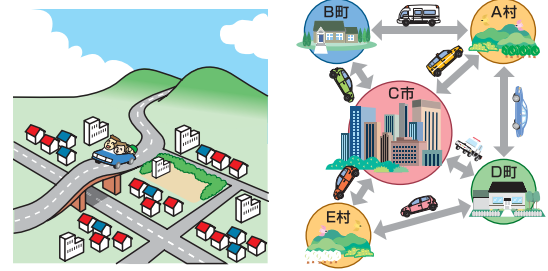
### 3 市街地の交通渋滞を緩和する道づくり

市街地など渋滞が発生している地点について、バイパスの整備や交差点改良などにより、交通渋滞の緩和を目指します。



### 4 地域間の連携を強化し、交流を確保する道づくり

地域間の連携・交流を図るため、幹線道路ネットワークの形成を目指します。



### 5 ゆとりある個性豊かな地域を創出する道づくり

電線類の地中化などにより快適なコミュニティ空間を創出し、地域の活性化の支援を目指します。



# 1

## 安全で安心な暮らしを実現する道づくり

### 平成18年度

#### 目標

**交通安全性の向上：** 死傷事故が発生する割合を約1割削減

**通行規制の解除：** 事前通行規制の解除による孤立人口の解消

#### 実行

**交通安全性の向上：** 27箇所において事故対策を実施

**通行規制の解除：** 事前通行規制の解除に向け、防災事業後に確認のための委員会を開催

#### 交通安全性の向上

●平成18年度は27箇所の単路や交差点において事故対策を実施しました。



事例：東江4丁目交差点

～事故対策の実現に向け、交通安全対策懇談会を開催～

- 交通安全対策懇談会を開催し、事故対策の計画を立案し事業を実施。
- 対策実施後、当該交差点の\*事故件数が3割減少。(10件→7件)

【懇談会メンバー】  
地域住民(東江区6人、世富慶区5人)  
東江小学校、名護市、名護警察署

【スケジュール】

- 平成18年10月：懇談会開催(事業内容の確認)
- 同11月～12月：対策の設計・工事開始
- 平成19年3月：対策完了

懇談会の実施



実施前



実施後



- 座津武防災や謝敷拡幅など防災対策を継続して実施するとともに、国道58号の通行規制区間解除に向けた委員会を開催しました。

事例：国道58号通行規制区間検討委員会の開催

～事前通行規制区間の解消に向けて～

- 国道58号宇良拡幅の事業完了(平成16年度完了)に伴い、事前通行規制解除に向けた委員会を開催。



宇良拡幅

【スケジュール】

- 第1回(平成18年9月)  
→現地視察、現状及び方針、方針の整理
- 第2回(平成18年10月)  
→規制解除の検討
- 第3回(平成19年2月)  
→一部区間規制解除の予定委員会「提言」のまとめ

現地検討会の実施



(国頭村と那)

【委員会からの提言】

3回開催した検討委員会において「宜名真及び塩屋の一部については、規制を解除しても問題ないことが確認された。また、与那～伊地間については対策工事後の解除とすること」との提言。

#### 確認

**交通安全性の向上**

目標  
約1割削減

実績  
約0.6割削減

⇒沖縄県北部地域全体の死傷事故率は、削減したものの、目標達成には至りませんでした。

**通行規制の解除**

目標  
2100人

実績  
2100人

⇒沖縄県北部地域の事前通行規制による孤立人口削減については、次年度の解除に向け調整に取り組みました。

### 平成19年度

#### 次への反映

**交通安全性の向上：** 死傷事故が発生する割合を約1割削減

**通行規制の解除：** 事前通行規制の解除による孤立人口を約1割削減

死傷事故率の高い箇所を中心に要対策箇所を抽出し、事故対策を実施

防災対策を推進するとともに、委員会の提言を受けた取り組みを実施

#### 交通安全性の向上

●平成19年度は16箇所にて事故対策を実施します。



目標の達成見込み

事故対策実施箇所では事故削減効果が見られていますが、年々死傷事故件数が増加しており目標値の達成は厳しい状況です。

事前通行規制の解消のため鋭意事業を進めていますが、設計見直し等により整備が遅れており、目標区間の規制解除に至らず、目標の達成は厳しい状況です。

#### 通行規制の解除

- 通行規制区間の解除を目指し、一般国道58号謝敷拡幅事業・座津武防災事業を推進します。
- 一般国道58号伊地～謝敷間の事前通行規制区間を解除します。



道路種別	
事前通行規制区間	一般国道
謝敷拡幅	主要地方道
大宜味村	一般県道
規則の影響を受ける集落	一般県道

# 2 豊かな自然環境の保全と観光を支援する道づくり

平成18年度

**目標** 観光客の満足度向上: 道路に対するレンタカー利用者満足度を0.1ポイント向上

**実行** 観光客の満足度向上: レンタサイクル社会実験を実施  
観光客の満足度向上

- 地域の方や観光客に自転車を利用することで、恩納村の魅力を知ってもらうことなどを目的として、レンタサイクル社会実験を実施しました。

事例: レンタサイクル社会実験の実施(恩納村)

【日時】 ①8/25~9/14  
②11/14~12/4

【目的】 短距離移動の削減による、渋滞緩和  
地域の魅力向上による、利用者満足度の向上



実施風景

**効果と課題**  
【効果】 参加者の9割がレンタサイクルに満足しており、評価が高い  
【課題】 稼働率が平均14%と低調

**自然環境の保全:** 小動物の輪禍防止など環境保全対策を推進

**自然環境の保全:** 「カニさんお助け隊」、「ヤンバルクイナ輪禍対策検討」の実施  
自然環境の保全

- 自然環境の保全に向けて、「カニさんお助け隊の結成」や、ヤンバルクイナの保全対策の検討などを実施しました。
- また、小動物保全に向けた基礎調査として、小動物行動把握調査を実施しました。

事例: カニさんお助け隊の結成

- 海に向かうオカガニやイワガニなどの「ロードキル」を防ぐことを目的に、『カニさんお助け隊』を結成、パトロールを計10回実施しました。

【日時】 6月から10月に各2回



「カニさんお助け隊」出初式  
カニさんお助け隊

**効果**  
・カニのロードキル件数が、前年より約5割削減  
・参加者の大多数が継続を希望し、評価が高い

**確認** 観光客の満足度向上 目標 4.3 実績 4.3

⇒観光客(レンタカー利用者)の道路利用に対する満足度は4.3点(5点満点)となり、目標を達成しました。  
一方、沿道緑化・管理に関連して、地元からの苦情件数が、前年より1.8倍に増加しており、対策が求められる状況です。

平成19年度

**次への反映** 観光客の満足度向上: 現水準の利用者満足度を維持  
満足度向上に向けレンタサイクル社会実験の継続実施(範囲拡大)や、沿道緑化を推進

## 観光客の満足度向上

- 昨年度実施した、レンタサイクル社会実験を、範囲を拡大しNPO団体(ソールド・おきなわ協会)と協働で実施します。



- 満足度向上に向け、道路景観の向上とともに、道路日常管理の最適化を推進します。

事例: 「なぐら桜街道」植樹祭の実施

～地元と協働し、地域の特性を生かした景観整備～

- 国道58号名護市区間の「さくら並木」の実現と「桜を通して市内外の親善と観光振興」を目的に名護市等地元と連携し「なぐら桜街道」植樹祭を開催します。



【目的】 「さくら並木」の実現と、「桜を通して市内外の親善と観光振興」  
【「なぐら桜街道」実行委員会メンバー】  
・名護市長  
・北部国道事務所  
・(財)名護・さくらの会  
・名護市観光協会  
・花の里づくりの会



ワークショップ風景

事例: 歴史の道ワークショップの開催

～レンタサイクルを活用して地元住民とサイクリングルートを検討～

- 恩納村仲泊～山田地区に点在する歴史文化遺産を結ぶサイクリングルートの設定の検討をしており、ルートの設定にあたって、地元の歴史ガイドや地域住民の方と協働で、自転車調査するワークショップを開催。

**目標の達成見込み** 「観光客(レンタカー利用者)の道路満足度」については、平成19年度見込み値は、5年間の目標値である4.3点となり、目標を達成できる見込みです。

**自然環境の保全:** ロードキル減少に向けた環境保全対策を実施  
カニさんお助け隊や、クイナフェンス実証実験など、地域やNPO等と協働

## 自然環境の保全

- 「カニさんお助け隊」やクイナフェンス実証実験など、地域やNPO等と協働した取組を実施するとともに、「やんばる」の自然環境との共存に向けた各種検討を実施していきます。

地域住民と協働したカニさんお助け隊の実施

- 昨年度に引き続き、「カニさんお助け隊」を実施します。
- 今年度は、活動を通じた環境学習などを目的に、地域の方々に加え、親子を対象としたボランティアツアーを実施します。



ボランティアツアーに参加した皆さん

NPO等と協働したクイナフェンス実証実験の実施

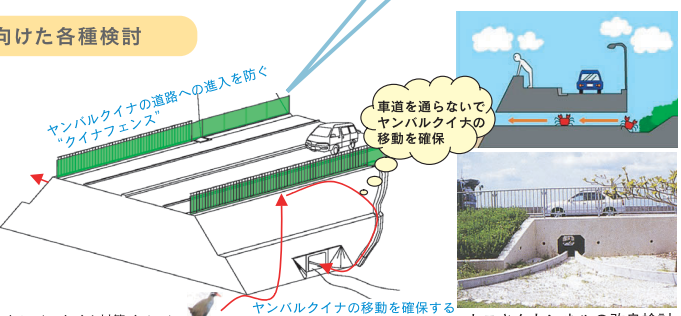
- ヤンバルクイナのロードキル削減に向けて「クイナフェンス実証実験」をNPO等と協働で実施します。



クイナフェンス設置説明会

自然環境との共存に向けた各種検討

- これまで北部国道ではカニさんトンネルなど、自然環境の保全に向けた整備を実施してきました。
- 今年度実施する実証実験や調査結果を踏まえ、やんばるの自然環境と道路の共存に向けたさらなる対策の検討を実施します。



ヤンバルクイナ対策イメージ

ヤンバルクイナの移動を確保する「道路下横断路」

カニさんトンネルの改良検討

# 3 市街地の交通渋滞を緩和する道づくり

平成18年度

**目標** 交通渋滞の緩和: 道路渋滞による損失時間を約53%削減

**実行** 交通渋滞の緩和: 渋滞対策における住民協働  
路上工事による影響削減

事例: 住民協働の渋滞対策

- 渋滞の著しい一般国道329号うるま市石川地区中心部の渋滞緩和に向け、沿道住民の方々と、一緒に対策を考えていく取組を実施しました。



意見交換会の実施

事例: 路上工事抑制カレンダー

- 交通量が多くなり渋滞が発生しやすい土日、祭りなどのイベントの実施日に、路上工事を抑制する取組(路上工事抑制カレンダー)を導入しました。



**確認** 交通渋滞の緩和 目標 約53%削減 実績 約2%増加

⇒沖縄県北部地域全体の渋滞損失時間は、約2%増加し、目標達成できませんでした。

平成19年度

**次への反映** 交通渋滞の緩和: 道路渋滞による損失時間を約55%削減

渋滞対策を推進するとともに、住民と協働する取組を推進

## 交通渋滞の緩和

- 交通渋滞の緩和に向けて、交差点改良などの渋滞対策を実施します。
- また、協働パトロールなど、住民と協働による取組を実施します。

【概要】 昨年度実施対策の効果や、今年度以降実施予定箇所について、現地をパトロールしつつ、現状や対策案について意見交換



協働パトロール風景



意見交換会風景

**目標の達成見込み** 渋滞対策実施箇所では渋滞の削減効果が見られているが、名護市内などでは依然高い結果となり、目標値の達成は厳しい状況です

# 4

## 地域間の連携を強化し、交流を確保する道づくり

平成18年度

**目標** 港湾までの圏域拡大: 港湾まで30分でアクセスできる人の割合を約1%向上

**実行** 港湾までの圏域拡大: 計画的な事業の実施

港湾までの圏域拡大

- 伊差川線(街路:沖縄県事業)の部分供用が実施されましたが、国道449号名護バイパス(沖縄県事業)の供用などが平成19年度にずれ込みました。
- 北部国道にて実施している名護東道路等早期の供用に向け取り組んでいます。

**確認** 港湾までの圏域拡大

目標	実績
約1%向上	変動なし

⇒港湾まで30分でアクセスできる人の割合は拡大が見られず、目標達成できませんでした。

平成19年度

**次への反映** 港湾までの圏域拡大: 港湾まで30分でアクセスできる人の割合を約1%向上

お約束プロジェクトなど計画的な事業の実施

### 港湾までの圏域拡大

- 事業進捗管理を徹底し、「お約束プロジェクト」を導入しつつ、事業を実施します。
- お約束プロジェクトとは…  
5年以内に供用が確実な事業をお約束プロジェクトといい、毎年の目標と状況を公表します

**目標の達成見込み** 県事業において一部事業進捗の遅れが生じたため、平成19年度見込み値は、5年間の目標値である75.5%を達成できず、75.2%となる見込みである。

# 5

## ゆとりある個性豊かな地域を創出する道づくり

平成18年度

**目標** 電線類の地中化: 幹線道路などの約1.2kmの区間で電柱・電線類の地中化を完了

**実行** 電線類の地中化: 無電柱化推進計画に基づいた事業の実施

事例: 国道329号うるま市石川地区

- 事業進捗が遅れ、地中化整備が完了しませんでした。



**確認** 電線類の地中化

目標	実績
約1.2km整備	0km整備

⇒電柱類の地中化については、目標達成できませんでした。

平成19年度

**次への反映** 電線類の地中化: 幹線道路などで約4.0kmの区間で電柱・電線類の地中化整備を完了

計画区間における無電柱整備の推進

### 電線類の地中化

**目標の達成見込み** 平成19年度見込み値は98%となり、目標を達成できる見込みである。

# 沖縄北部地域のアウトカム指標

道ビジョン	アウトカム指標※	H18実績	H19		5ヶ年の達成見込みについて
			目標	見込み	
安全で安心な暮らしを実現する道づくり	道路交通における死傷事故率	31.0件/億台キロ	29.1件/億台キロ	30.7件/億台キロ	事故対策実施箇所では事故削減効果が見られているが、年々死傷事故件数が増加しており、目標値の達成は厳しい状況である。
	事前通行規制実施に伴う孤立人口	2,100人	1,900人	2,000人	事前通行規制の解消のため鋭意事業を進めているが、設計見直し等により整備が遅れており、目標区間の規制解除に至らず目標の達成は厳しい状況である。
	一般医療院まで30分以内で安全かつ安定的に到達できる人の割合	75.7%	76.4%	75.8%	一部事業進捗の遅れが生じたため、平成19年度見込み値は、5年間の目標値である76.4%を達成できず、75.8%となる見込みである。
	役場まで10分以内で安全かつ安定的に走行できる人の割合	60.0%	62.0%	60.7%	一部事業進捗の遅れが生じたため、平成19年度見込み値は、5年間の目標値である62.0%を達成できず、60.7%となる見込みである。
豊かな自然環境の保全と観光を支援する道づくり	観光客（レンタカー利用者）の道路満足度	4.3	4.3	4.3	平成19年度見込み値は、5年間の目標値である4.3点となり、目標を達成できる見込みである。
	夜間騒音要請限度達成率	100%	100%	100%	5か年の目標は、目標を達成できる見込みである。
	ＩＣから観光地までの緑のネットワーク率	64.2%	76.9%	64.2%	平成19年度見込み値は、5年間の目標値である76.9%を達成できず、64.2%となる見込みである。
	休憩施設や情報配信・交流施設（道の駅・ロードパーク）の整備率	70.0%	86.0%	70.0%	平成19年度見込み値は、5年間の目標値である86.0%を達成できず、70.0%となる見込みである。
市街地の交通渋滞を緩和する道づくり	道路渋滞による損失時間	9.2百万人時間/年	4.1百万人時間/年	9.2百万人時間/年	渋滞対策実施箇所では渋滞の削減効果が見られているが、名護市内などでは依然高い結果となり、目標値の達成は厳しい状況である。
	E T C利用率	28.7%	大幅増	大幅増 (H19.10時点34.1%)	5ヶ年の目標値である大幅増を達成できる見込みである。
	路上工事時間	84時間/km・年	111時間/km・年	89時間/km・年	5か年の目標は、1年前倒しの平成18年度で達成できた。
地域間の連携を強化し、交流を確保する道づくり	日常生活の中心となる都市まで、30分以内で安全かつ安定的に走行できる人の割合	70.2%	73.2%	70.6%	一部事業進捗の遅れが生じたため、平成19年度見込み値は、5年間の目標値である73.2%を達成できず、70.6%となる見込みである。
	港湾まで30分でアクセスできる市町村人口の割合	74.7%	75.5%	75.2%	一部事業進捗の遅れが生じたため、平成19年度見込み値は、5年間の目標値である75.5%を達成できず、75.2%となる見込みである。
	規格の高い道路を使う割合	11.02%	11.41%	11.04%	平成19年度見込み値は5年間の目標値である11.41%を達成できず、11.04%となる見込みである。
ゆとりある個性豊かな地域を創出する道づくり	無電柱化整備率	62%	75%	98%	平成19年度見込み値は98%となり、目標を達成できる見込みである。
道路行政の転換	道路利用者満足度	3.0	3.2	3.2	平成19年度見込み値は、5年間の目標値である3.0点となり、目標を達成できる見込みである。
	ホームページアクセス数	6.7万アクセス/年	18.4万アクセス/年	8.2万アクセス/年	平成19年度見込み値は、5年間の目標値である18.4万アクセス/年を達成できず、8.2万アクセス/年となる見込みである。
	ボランティア・サポート・プログラムの参加団体数	26団体	毎年増加	27団体	平成19年度見込み値は、27団体となり、5ヶ年の目標値である毎年増加を達成できる見込みである。

※アウトカム指標とは、事業・施策の成果について、数値を用いて目標・達成度を明確に表す指標

## お出かけ前に役立つ北部地域の道路情報の総合サイト

やんばる地域の貴重な動植物やイベント情報、道路事業の紹介を行っています

最新の道路の（工事による）規制状況や災害状況を配信しています

北部国道事務所が実施している事業の供用年を宣言しています



ホームページは「やんばるロード」で検索!

やんばるロード | 検索

旬のトピックスを掲載しています

メールマガジンによる道路に関するお役立ち情報を配信しています

道路に関する最新的话题を提供しています



皆様のご意見・ご感想をお寄せください

## 北部国道事務所

〒905-0019 沖縄県名護市大北4丁目28番34号

TEL 0980-52-4350 / FAX 0980-52-1131

http://www.dc.ogb.go.jp/hokkoku/

道のことなら何でもご相談ください!!

### 道の相談室

意見 問合せ 通報 その他

ドロー ヨウナレ

0120-106-497

E-mail: michi.soudan@ogb.cao.go.jp

「道の相談室」は、道に関するあらゆる相談・意見・苦情・質問等を受け付ける総合的な道路相談窓口です。

